

4. 絵本『サンゴの海のひみつ』について

この絵本は、南の島に住む少女ナナが抱いた「サンゴってなに？」という疑問からはじまる物語です。ナナと一緒に、サンゴの海で起こるドラマを楽しみながら、サンゴの生きものとしての仕組みや面白さ、サンゴと他の生きものたちの関わり、サンゴの役割、海の直面する問題などを学ぶことができます。

1 絵本『サンゴの海のひみつ』の概要

サンゴというと、南のあたたかい海のものというイメージがありますが、サンゴは南の海だけでなく、地球全体のシステムに大きな役割を果たしており、サンゴについて学ぶことは、海そのものや、地球規模での海の問題について学ぶことにつながります。

海が現在直面している、最も深刻な課題のひとつに、増え続ける二酸化炭素の影響による気候変動がありますが、サンゴもこの影響を大きく受けている存在です。絵本『サンゴの海のひみつ』ではこの課題についても取り上げ、自分たちの暮らしの中から生まれる二酸化炭素が、遠くはなれた場所にある海洋環境に打撃を与える、といった地球規模のつながりへの意識と理解を育むことを目指しています。

2 絵本『サンゴの海のひみつ』の内容紹介

絵本は子どもたちが、自分たちで読み進められるように制作されていますが、それぞれの場面から、さらに話を広げていける内容についてご紹介します。

表紙 | 浜辺に打ち上げられたサンゴのかけら

このサンゴのかけらが、どのような存在なのか、絵本を読み進めると理解できるようになっています。



P2~3 | 主人公ナナの暮らす島の海

この海の下に、サンゴの不思議な世界が広がっています。



P4~5 | 島の海に広がるサンゴ

サンゴの形が様々なのは、太陽の光をできるだけ多く取り込めるように、それぞれのサンゴが工夫を凝らした結果です。サンゴにとって、太陽の光はととても大切なものですが、後の場面でその理由が明らかになります。



P6~9 | 冒険のはじまり

「サンゴってなに？」の疑問から、ナナのサンゴの海での冒険がはじまります。



P10~11 | サンゴに出会うナナ

豆粒ほどの大きさになったナナは、サンゴという生きものに会います。花びらのように見えるのは、動物としてのサンゴの本体、ポリプです。ポリプについては、詳しい図解が巻末の解説に掲載されています。



P12~13 | 褐虫藻のこと

サンゴの中には、褐虫藻という藻（植物）が共生しています。褐虫藻は、光合成して、サンゴに必要な栄養分の9割以上を作り出しています。



P14~15 | 海の生物多様性

サンゴ礁は「海の熱帯林」ともいわれるように、海の生物多様性を支える存在であり、世界の海に生息する50万種の動物のうち4分の1はサンゴ礁域に暮らしているといわれています。外洋で暮らす魚に産卵や稚魚の育つ場所を提供する存在でもあり、海洋生態系のなかで、とても重要な役割を担っています。



P16~17 | サンゴの産卵

サンゴは、満月近くの夜に産卵します。満月の前後は、潮の動きが大きくなり、卵がより広い範囲に届くためといわれています。



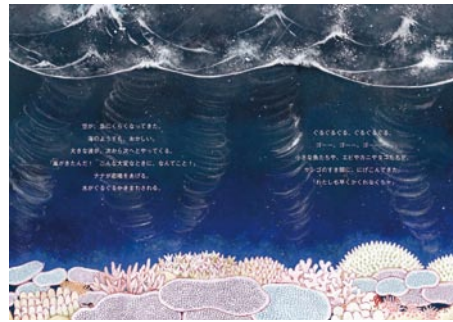
P18~19 | サンゴの白化

サンゴが生きるのに適している海水温は、25～28度といわれており、30度をこえると、共生している褐虫藻が海中に逃げ出してしまいます。褐虫藻がいなくなると、サンゴの骨格が透けて真っ白に見えるので、白化と呼ばれています。白化したサンゴはまだ生きていますが、エネルギーの9割以上を褐虫藻にまかなってもらっているので、海水温が高い状態が続いて褐虫藻が戻ってこない、そのまま死んでしまいます。サンゴがストレスを受ける原因には、他にも土砂の流出や水質の悪化など様々なものがありますが、気候変動による海水温の上昇は、そうした目に見える問題に対処するだけでは解決できず、また大きな範囲にダメージを与えるためとても深刻です。



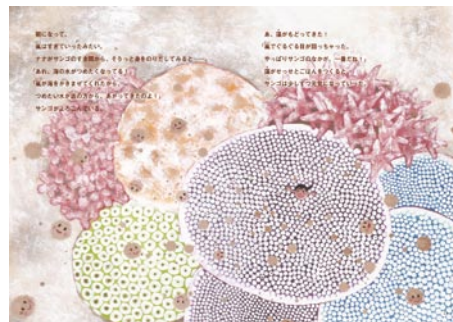
P20~21 | 台風の役割

夏のあいだ、台風などによって、定期的には海の水が攪拌されることは、海の水温をサンゴの生育に適した温度に保つために大切な役割を果たしています。



P22~23 | サンゴと海水温

海水温が25～28度に戻ると、褐虫藻は再びサンゴに戻ってきます。



P24~27 | サンゴは天然の防波堤

島に戻って、サンゴが村を嵐の大波から守ってくれたことを知ったナナ。サンゴ礁は天然の防波堤となって、海岸を浸食から守る役割なども果たしています。



P28~29 | たくさんのいのち

サンゴの生息する温かな海は、プランクトンの数が少なく栄養素が少ないので、サンゴがいなくなると、多くの生き物たちが暮らす場所を失い、海全体が砂漠のような状態になってしまいます。サンゴは、たくさんのいのちを育てているのです。



P30~31 | 解説

サンゴの生態や、海の直面している課題の詳細について解説しています。他の生き物たちが暮らす場所を生み出し、周囲の環境を豊かにしているサンゴのような在り方に、私たちが今直面する地球規模での変化に向き合うヒントがあるのではないか、という問いかけから、私たちができることについて考えるきっかけづくりも目指しています。

